

自然あふれる環境、豊かな食材、活気あるコミュニティ……自分らしさが見つかる街

# つくばスタイル CRAFT

Life Style Magazine for Tsukuba Garden City

## 移住して「つくる」。 つくばのクラフトライフを提案！

つくば「クラフトライフ」STORY / まちに根ざした酒づくり  
What is「周辺市街地」? / 周辺市街地を彩るひと、プラン



# つくば「クラフト ライフ」STORY

クラフトとは「技術を駆使して手作業でつくる」という意味。  
つくばは、自らの手で新たな仕事、生活をつくる人が輝く街だ。

写真=野田真 文=佐々木正孝

ランチで人気の「JOURNAL 野菜たっぷりヘルシーセット (1,430円/1日20食限定)」。メインに加えて五穀米と胚芽米のライス、生野菜サラダ、野菜がたっぷりの豚汁が付く



Case /

1

Uターン

## 田園風景にたたずむカフェで自家菜園の野菜を提供する

◆ JOURNAL CAFE

### 池田弘江さん

つくば市生まれ。都内でインテリアデザインを学び、Uターンして市内のカフェで修業を積む。2003年に独立開業を果たし、2013年から現店舗で営業している。

つくばにUターンしてヘルシーなカフェを開業

「筑波山を見て育ちました。大好きなこの山が見える場所でカフェを始めたかったんです」。

山並みを眺めながら語る池田さん。出産を機に店舗と自宅を建てたのは、2013年のこと。スタイリッシュな外観の中に、木の質感を生かしたくつろぎの空間を実現した。上質なカフェメニューも評判を呼び、県内外から女性グループやファミリーが訪れる。

メニューは健康志向で、地産地消がコンセプト。五穀米・胚芽米や野菜は地元産に加えて敷地の隣につくった菜園の無農薬のものを使う。

「広い芝生スペースでは早朝や夜のヨガ教室、店内ではフラワー教室も開催してきました。地域のみなさんとの交流はもちろん、健康的なライフスタイルを発信していく場を目指していきたいですね」

今後自分らしく、大好きなつくばで健康な食を提供し続けていきたい。視線の先には、変わらぬ姿でたたずむ筑波山の姿があった。

上) 菜園で育てた無農薬の大根。味噌を手づくりするなど安心・安全な食材を取り入れる。下) 野菜中心のメニューでリピーターも多い。スイーツも絶品だ



Data

ジャーナル カフェ

つくば市今鹿島 4869-1

☎029-896-6842 営業/月・金曜  
11:00 ~ 14:00 (L.O.)、水・木曜 11:00 ~ 15:00 (L.O.)、土曜 10:00 ~ 16:00 (L.O.)、日曜 10:00 ~ 15:00 (L.O.)  
休み/火曜、ほか不定休あり



右) 近くに住む親族が卵を差し入れ。地元の農産物を中心にメニューを作る。左) 店内に立つ木の柱は、榎林だったこの土地の原風景をイメージしたものの





Uターン

## 再生古民家とカフェから、つくば体験ができる場づくり

● 旧小林邸 ひととき / CAFE日升庵

### 野堀真哉さん

つくば市生まれ。飲食業、家電量販店などを経て、2015年に『CAFE日升庵』をオープン。筑波山中腹の古民家を受け継ぎ、2020年10月に『旧小林邸 ひととき』を開業した。

# 2

## 自分の手と技で働き、暮らす場所



趣ある商家造りの建築はそのままに、テレワークにも対応する設備を備えた。離れにはコワーキングスペースも設置している

一大観光資源・筑波山に魅力を感じて起業を決意

1600坪の広大な敷地に築120年以上というシックな母屋。ここ『旧小林邸ひととき』は、古民家の良さを残しつつリノベーションした絶景の民泊施設だ。手がけたのは、つくば生まれの野堀さん。会社員時代に茨城県が魅力度ランキングで最下位続きだと知り、地元を元気にできないかと考えていた。

「つくばにUターンしてからのことですが、最高の夕日に感動し、地元

の魅力を再発見したんです」

そのスポットこそ、筑波山。つくばエクスペリエンスの開業によって実現した都内への好アクセスに改めて強みを感じ、起業を決意。せんべいカフェ『CAFE日升庵』をオープンし、5年の準備を経て『旧小林邸ひととき』を開業した。

「筑波山の観光といえば大型バスによるツアーや登山がメインでしたが、風土や歴史の魅力もダイレクトに伝えたい。二つのスペースを駆使して、ここでしかできないコミュニケーション体験、宿泊体験を提供していきます」



家電量販店の販売員時代は3年以上も全国トップセールスを記録した野堀さん。消費者の購買意欲をつかんだノウハウを生かし、観光客のニーズに応える地域資源を新たに作り出す。



1) 江戸時代から続く米問屋で、筑波山のケーブルカーや筑波鉄道などのインフラ建設に尽力した名士の旧邸宅。2) 商家ならではのしつらえが随所に残る。2階の宿泊スペースは日帰り利用も可能だ。3) カフェの開業時はせんべいの手焼き体験をメインに据えたアイデアマン。『旧小林邸 ひととき』でも、庭でスパイスカレーを作る「筑波山カレー部」など、ユニークなプロジェクトを提案している



Data

カフェにっしょうあん

つくば市筑波 1221-3

☎ 029-875-8821

営業 /

11:00 ~ 18:00、

土・日曜、祝日 10:00 ~

休み / 金曜

きゅうこばやしてい

ひととき

つくば市筑波 937

☎ 029-866-0003



旬が美味しい！つくば  
野菜の魅力を届けたい

牛久沼などの豊かな自然が近く、農地も多い住宅街の一角にたえずカフェレストラン。150坪の広大な自家菜園で野菜づくりに取り組み、まかなえない野菜も市内の農家から朝採りで仕入れる。シェフの下野さんが選ぶのは新鮮な食材のみだ。

「野菜を収穫するタイミングや、どんな野菜を育ててもらおうかを農家と相談しながら仕入れています。朝採り野菜は甘みも旨味も断然違います。旬の美味しさをお客様に伝えることができるんです」

畑と厨房の距離が近いだけではない。料理人にとって、行動半径が広く舌が肥えたつくば市民への提供が大きな刺激になるという。

「つくばは有力なレストランがひしめくグルメ激戦区ですが、ここなら旬の食材とじっくり向き合いながら、自分の料理を突き詰められます」

ホールを担当する奥様と二人三脚で店舗を切り盛りし、つくばの農業とも強固に連携。下野さんは理想のシェフライフを満喫している。



Data

カフェアンドレストラン  
バスティユ

つくば市高見原2-10-82

☎029-811-6098

営業/ランチ11:30～14:00、

カフェ14:30～16:30、

ディナー18:00～22:00

※ディナーは前日18:00までの

事前予約制 休み/月曜

(祝日の場合翌日休み)

\ Case /

3

1ター

野菜畑とつながるキッチンで  
つくば産の食材と向き合う

● Cafe & Restaurant Bastille

下野剛さん

岐阜県生まれ。大阪の料理学校でフレンチ、イタリアンを学ぶ。つくば市の「ホテルグランド東雲」西洋料理長などで研鑽を重ね、2017年に高見原でカフェ&レストランを開業。



上)「ハンバーグリッチプレート(1,600円)」。イタリアン、フレンチをベースに色彩豊かなひと皿を創り出す。下)ログハウスを思わせる店内。定期的にライブイベントも開催



1) つくば市の地産地消レストラン「Farm to Table つくば」の認証も受けた。地元食材の活用に力を入れる。2) 店内では菜園、農家直送の野菜も販売。3) 菜園を始めて10年。温暖なつくばの気候を生かし、欧州野菜の栽培にもチャレンジしている





2



3

1) アンさんは夫、長女、ルームメイトのマヌエラさん、4匹の猫と暮らす。2) 地元の小田米を加工した米粉、茨城県産の蕎麦粉、きな粉、オーガニックの乳製品、卵からさまざまな菓子を作り出す。3) アイダホ州の自然豊かな農場育ち。10歳で母親からパイ作りを教わって以来、パイやケーキを作り続けてきた



マフィンとは「TAMARIBAR」でも販売。4)「ゆずパイ (2,200円)」。5)「チョコチップマフィン (390円)」。6)「りんごとくるみのマフィン (390円)」。7)「ブルーベリーマフィン (390円)」。8)「アップルパイ (2,420円)」



11



9



10

9) コミュニティスペース「TAMARIBAR」の運営を支え、洋菓子も販売。10) 自宅は築40年の日本家屋。建築設計のスキルを生かし、DIYでキッチンを改造中だ。11) ルームメイトと語りつつ、家事を楽しむ

Case /

# 4

1ターム

## 菓子も自宅も自分流にデザイン心地よい街で暮らしていく

### ● MIKAGE アン・コーツさん

アメリカ生まれ。菓子作りの腕を生かし、2020年4月に「MIKAGE」を開業。宝篋山の登山口近くに立地するコミュニティスペース「TAMARIBAR」にも携わる。

鎌倉時代から続くまちでアメリカ菓子をつくる

サクサクの生地にフルーツの食感と香りが生きたパイ、可愛らしいマフィンたち。アメリカ出身のアンさんが手がけるのは、小麦粉を一切不使用。いわゆる「グルテンフリー」のアメリカ菓子だ。

「私はグルテン不耐症が判明して以来、小麦粉を使わないレシピを考案してきました。小田はオーガニックを意識した農家が多く、国際的な研究機関も近いので多国籍の研究者が多い。住民の皆さんは外国人にフレンドリーです。グルテンフリーベーカーリーには最適な環境でした」

産業技術総合研究所に勤務するご主人と自然豊かな小田の地を選んだ。建築学を学んできただけに、店舗キッチンは自ら設計。自宅もDIYでリフォームするなど、さらなる創意欲を燃やす。

「お菓子は美味しく、家は快適になるように正しく設計しなければ。自然の中で生活しながら、暮らして仕事を自分らしくデザインできる。それがつくばの魅力だと思います」



Data  
**ミカゲ**  
 つくば市小田3094-2  
 ☎ 090-5507-3508  
 営業/土・日曜  
 9:00 ~ 15:00  
 (併設のTAMARIBARで販売)  
 休み/月~金曜、祝日  
 (祝日が土・日曜の場合は営業)  
<https://mikagegf.com/>



通学路に面した店頭から  
あたたかい視線をおくる

田畑や竹林に囲まれ、筑波山も一望できる閑静な住宅地にある一軒家ベーカリー。オーナーの酒井さんは神奈川県からつくばに夫婦で移住。奇をてらわないシンプルなおパンを作ってきた。朝は4時に起きて仕込みに入り、閉店後も厨房で小麦粉と向き合う日々。お客との何気ないやり取りが活力になるといふ。

『いつものパンにしますか？』、『それとも……？』。ショーケースを設えた窓越しに会話しながら、ゆったりと接客。対面販売というスタイルが私に合っているんじゃないか。店の前は通学路。近隣の小学生たちもガラスケースに並ぶパンには興味津々。酒井さんはカウンターからやさしい視線をおくる。地域に根ざした「まちのパン屋さん」の姿が、そこにある。

「近所の小学生や親子連れが、にっこりしながらパンを買ってくれるのは何よりの楽しみ。地域の皆さんも良い方ばかりで、創業当初からずっと支えていただいています」



Data

ベーカリー ミイ

つくば市篠崎931-3

☎029-895-0137

営業 / 11:00 ~ 18:00

(売り切れ次第終了)

休み / 日・月曜、祝日

\ Case /

5

1ターム

地域に根ざしてパンを焼く  
日常づかいのパン屋さん

● Bakery Myy

酒井更代さん

ベーカリーに勤務して経験を積み、2008年12月に独立開業。店舗兼自宅で、都内に勤務するご主人と暮らす。店名はミニのキャラクター「ミイ」にちなんだもの。



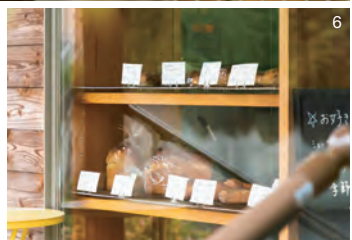
右)「自然の味わいをパンから感じてほしい」と、安心・安全なパン作りに集中する。左) つくば産の果物で作ったジャムやクリームチーズ、バターをお好みのパンにトッピング。福来みかんや梨、柿など、ご近所さんからのいただきものは引きも切らない



1)「山食パン(1本450円、1/3サイズ150円)」はつくば産の小麦「ユメシホウ」を配合。2) 無漂白のココナッツとホワイトチョコチップを練り込んだ「クウココ(130円)」。3) 豆腐をブレンドした「とうふクッペ(100円)」



自家菜園ではソラマメやインゲンなど、惣菜パンに使う野菜も育てている。「菜園は夫の担当です。次の夏はどうもろこしも栽培したいですね」(酒井さん)



4) 夫婦共通の趣味はグルメ。蕎麦やラーメンの名店を食べ歩く。5) スタンダードな食パンも、焼き上げつつ研究を重ねる。6) 10種以上のパンが並ぶショーケース







Data

カフェ&ビア ゴーティー

つくば市栄313 ☎029-869-5216

営業 / 11:00~21:00 (L.O.20:00)、

火・水・日曜

11:00~17:00 (L.O.16:00)

※最新の営業時間はSNSにて告知

休み / 月曜、第3火曜

@goatee\_029

オットヘアワークス

つくば市栄313

☎029-869-5215

営業 / 9:00~20:00

休み / 月曜、第1・3・5

火曜



肉をしっかり食べたい方には「日替わりミートセット(1,200円)」がおすすめ。県産野菜をたっぷり使ったベジタブルセットも好評



1



3



2

\ Case /

「ターン

## 空き倉庫をリノベーション 人々をつなぐ空間に

● 倉庫029

cafe & beer GOATEE OTTO hair works

平野 諒さん / 中川 直樹さん

茨城県出身同士だが面識はなく、平野さんは飲食業、中川さんは美容室で働いていた。妻同士が親友だったことから意気投合し、つくば市栄で共同開業を果たす。

1) 平野さんは都内の飲食店でキャリアを積んだ。子どもをのびのび育てるべく、つくば市に移住。2) 「美容室とカフェを併設したスタイルに憧れていた」という中川さん。平野さんとの出会いを機に、理想のワークスペースを実現。3) 「中心市街から離れた立地も不利には感じなかった」と口を揃える。SNSとクチコミでリピーターを作ってきた

「僕たちらしい試みができそうです」  
(平野さん)

新たなつながりの起点になったのは、二人の「グラフトマンシップ」。今後は地域貢献の場として期待も大きい。

「食事難や孤食に直面する家庭に向け、子ども食堂の企画を構想しています。そこで子どもにヘアカットまで提供できたら、

「カフェでごはんを食べるついでに美容室の予約をする人がいたり、子どものカットをお茶しながら待つ親方も増えてきました」(中川さん)

「カフェでごはんを食べるついでに美容室の予約をする人がいたり、子どものカットをお茶しながら待つ親方も増えてきました」(中川さん)

「カフェでごはんを食べるついでに美容室の予約をする人がいたり、子どものカットをお茶しながら待つ親方も増えてきました」(中川さん)

カフェとヘアサロン  
二人だからできること



天井が高く、開放感のあるスペース。断熱材を加えて快適性を向上させている。「リノベーションの際は柱のサビをあえて残し、経年感を出しました」(平野さん)



カフェは平野夫妻、美容室は中川夫妻が運営。共有スペースはアイデアを出し合って活用する。両夫妻は、つくばで出産・育児を経験しており、公私ともに絆が深い



伝統と革新が集結！

# つくばのまちの酒づくり

## TSUKUBA BREWERY



金色姫  
IPA

Tsukuba  
REDFROG



延時崇幸さん

### 旬の素材とコラボし、市特産「福来みかん」ビールも開発

水戸市で育ち、つくば市で映像制作会社を起業した延時さん。「他の酒づくりは盛んなのに、つくば産のビールだけがなかった。人と人を笑顔でつなげてくれるビールをつくりたい」と一念発起し、都内のブルワリーで修業。2020年6月、憩いのスポットとして知られる洞峰公園の近くにテイクアウトも可能な店を出した。IPAなどのスタンダードなクラフトビールの名前は、つくばの歴史や文化にちなんだもの。つくば特産の福来みかんを使ったビールを開発するなど、地元農家とのコラボも活発だ。

#### Data

##### つくばブルワリー

つくば市二の宮2-14-15 ☎029-846-7252  
営業 / 17:00 ~ 24:00 (L.O.23:30)、  
土曜 12:00 ~ 24:00  
(L.O.23:30)、  
日曜 12:00 ~ 21:00  
(L.O.20:30)  
休み / 月曜、隔週火曜  
☎@tsukubabrewery



## CRAFT BEER

### 浦里酒造店



霧筑波 大吟醸  
参年酒 [知可良]

特別純米酒  
霧筑波



浦里知可良さん

### 茨城県内で9割以上を消費 地元で根ざして美酒を醸す

六代目蔵元の浦里知可良さん。東北と関東の酒蔵で修業を積み、酒類総合研究所で清酒酵母の研究に従事。2018年につくばに帰郷し、蔵に入った。「当蔵の酒には茨城が誇る小川酵母ならではの香気、旨味が生きています。地元で根ざした地酒でありたいと考えており、つくば市をはじめ、県内で9割以上を販売しています。地元吉沼で収穫された酒米での酒づくりも始めました」と語る。感覚と経験をベースにした杜氏の技と、最新のデータ分析も駆使する若き蔵元。新時代の酒づくりに注目したい。

#### Data

##### うらざとしゅぞうてん

つくば市吉沼982 ☎029-865-0032  
営業 / 9:00 ~ 18:00  
休み / 第2・4土曜、  
日曜、祝日  
https://www.kiritsukuba.co.jp/



## SAKE

### 稲葉酒造



すてら 本生  
純米大吟醸

男女川 しぼりたて  
純米吟醸



稲葉伸子さん

### 伝統の酒づくりを重視しつつ 日本酒の可能性を追求する

六代目蔵元の稲葉さんは筑波山神社の御神酒として引き継がれる「男女川」、女性杜氏らしいセンスが発揮された「すてら」など、伝統を基盤に酒づくりのアップデートに挑んできた。「長い年月をかけて筑波山が濾過した湧水で仕込んでいます。まるやかで滋味深い水が、お酒にもそのまま反映されるんです」と稲葉さん。洗米から発酵、麴造り、搾りまで蔵人の手作業を重んじており、機械では醸すことのできない繊細な味わいを実現。その完成度は、世界でも高く評価されている。

#### Data

##### いなばしゅぞう

つくば市沼田1485 ☎029-866-0020  
営業 / 9:00 ~ 18:00  
休み / 水曜  
https://www.minanogawa.jp/



## SAKE



つくば市は「つくばワイン・フルーツ酒特区」に認定。  
 最低製造数量基準が緩和されたことから、近年になってワイナリーが続々誕生。  
 歴史ある蔵元が筑波山の名水で醸す日本酒、近年はクラフトビールも加わって多様な酒づくりが行われている。

写真=野田真 文=佐々木正孝

## Tsukuba Winery



TSUKUBA ROUGE (2019年) TSUKUBA BLANC プレミアム (2019年)



北村工さん

### ブドウ畑と醸造所が織りなす つくば発のワインツーリズム

つくば市北条の広大な敷地に、ブドウ畑や醸造所、直売所を併設する。筑波山麓ならではの気候、土壌で育った国産ブドウ品種「富士の夢」「北天の雫」などを使ったワインは栽培、手摘み選果から醸造までワンストップで手がけたものだ。醸造責任者の北村さんは県内の醸造所で長年腕を磨いてきた。「畑の前に醸造所があるため、良いコンディションのブドウを新鮮なままワインに上げることが出来ます」と語る。今後はレストランも建設予定で、つくばならではのワインツーリズムに期待がかかる。

#### Data

##### つくばワイナリー

つくば市北条 1162-8 ☎ 029-893-5115  
 営業 / 13:00 ~ 17:00、土・日曜、祝日  
 10:00 ~  
 休み / 月曜  
<https://tsukuba-winery.kadoya-company.com/>



WINE

## Tsukuba Vineyard



Tsukuba Series Kurihara (ロゼ 2020年)



高橋学さん

### 地質研究者が目指すのは 日常的に飲める市民のワイン

産業技術総合研究所(つくば市)で岩石や地質の分析を研究してきた高橋さん。つくば市内の耕作放棄地を借りてブドウ栽培を始め、2020年にワイナリーを建設。ブドウ栽培から醸造まで、すべて自前で手がけたワインをリリースした。「ヨーロッパには、市民が誇りにする地ワインがあります。手頃な値段で日常的に飲めるワインを地域で作り、市民に親しんでもらえれば」と語る。「市のサポートは厚く、ワイナリーも建てやすい。10年後にはつくばワインが有力なブランドになっているでしょう」

#### Data

##### つくばヴァインヤード

つくば市栗原 2973  
<https://tsukuba-vineyard.sakura.ne.jp/>



WINE

## Bee's Knees Vineyards



オーバードライブ (2019年) パールピークス (2019年)



今村ことよさん

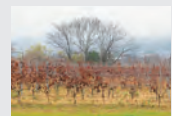
### つくばの土から生まれる 日本ワインらしからぬ味わい

製薬会社に勤務していた今村さん。筑波山麓の豊かな土壌に魅力を感じ、2015年に脱サラしてワイン畑を開いた。1.5haの畑をほぼ一人で管理し、9品種のブドウを栽培している。多雨気候の日本で造るワインはライトな味わいが多いが、この畑から生まれるワインはしっかりした味わい。「華やかな香りも、畑の土の恵みでしょうか」と今村さんは語る。初年度は100kgだった収穫量も2020年には3.6tに。委託醸造から念願の自家醸造に向け、つくば市の特区制度を活用しながら準備を進めている。

#### Data

##### ビーズニーズ ヴァインヤーズ

つくば市神郡 2565  
<https://bkvn.buyshop.jp/>



WINE





# What is 「周辺市街地」?

合併してつくば市になる前の旧町村時代、生活の拠点として発展してきた地域が「周辺市街地」。  
歴史のある建物や町並みといった地域資源にも再注目だ。

文=佐々木正孝 イラスト=あべゆみこ

## area ほうじょう 北条 | 門前町として発展し いまなお風情を残す

江戸時代には筑波山参拝の門前町として栄え、歴史を感じさせる街並みが残っている。「宮本家店蔵」をはじめ「矢中の杜」「日田村呉服屋(北条ふれあい館)」、昭和初期建造の木造郵便局をリノベーションした「カフェ ポستن」などの建造物のほか、季節ごとに開催される青空市「北条市」、地域の米からつくるスイーツ「北条米スクリーム」などが知られている。



写真提供=つくば市

## area おだ 小田 | 城址や登山口など 観光資源が豊富!

12世紀末に築城された小田城の跡地周辺に発達した市街地。全長180kmに及ぶ「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が通っているほか、ハイカーに人気を呼んでいる宝篋山の登山口もあり、多くの観光客が訪れる。小正月の「小田どんど焼き」など、小田城跡歴史ひろばでは季節の行事も行われている。地域活動も活発で、廃校や古民家を活用した取り組みが進む。



写真提供=つくば市

## area さかえ 栄 | 長屋門など 歴史的建物が残る

つくばエクスプレスつくば駅から約3.5kmという近さにある市街地。規模の大きな古民家や長屋門(居室や納屋を備えた大型の門)が随所に残っており、国の文化財にも登録されている古民家を再生したイタリアンレストラン「藤右エ門 栄」など、歴史的建造物を生かした取組が行われている。



写真提供=藤右エ門 栄

歴史と未来をつなぐ  
周辺市街地  
門前町、城下町、商店街などつくば市各地域の中心として栄え、住民の生活のベースとして発展してきた歴史を持つ周辺市街地。時代の移り変わりを経て少子高齢化の波が押し寄せてはいるが、観光資源が豊富だったり、歴史的な街並みが残っていたり、いまなお見逃せないポテンシャルがある。



area

## おおぞね 大曾根

歴史ある街道  
大樹が残るまち

つくば市の中央部にあり、古くからの街道沿いに発展してきた歴史あるまち。つくば駅からバスで15分と中心市街地とも好アクセスで、市街地のある高台からは桜川と筑波山が一望できる。水田も多く、大樹など豊かな自然が残っているのも特徴だ。近隣の筑穂・花畑地区には商業施設が多く、近年は子育て世代が多く移住している。



写真提供=つくば市

area

## よしぬま 吉沼

豊かな自然の恵みが  
特産品として結実

江戸時代は仙台藩の領地だったこともあり、旧家や神社仏閣が点在。西部には小貝川が流れ、自然が豊かで稲作も盛んに行われている。日本酒「霧筑波」(浦里酒造店)、生クリーム入りどら焼き(宝集屋)、つくば米シフォンケーキ(つくばヤーコン)など、地域に愛される特産品も豊富。夏には電飾をつけた神輿が練り歩く吉沼祇園祭で盛り上がる。



写真提供=つくば市

area

## かみごう 上郷

小貝川沿いの自然と  
歴史、文化が集積

小貝川流域の文化・産業とともに発展してきた市街地。「筑波山地域ジオパーク上郷ジオサイト」指定の川口公園など、自然豊かな環境が自慢だ。最近では酵素イチゴ、イチジクなどユニークな特産品も注目を集めている。931年に建立された「春日神社」、関東三雷神のひとつに数えられる「金村別雷神社」など、長い歴史を持つ神社、史跡が多く残っている。



写真提供=つくば市

area

## やたべ 谷田部

江戸時代の発明家  
飯塚伊賀七の故郷

江戸時代の陣屋町であり、商業の中心地として発展。「からくり伊賀七」として知られた発明家、飯塚伊賀七のふるさとでもある。和時計の復元模型など多くの発明品を収蔵した「つくば市谷田部郷土資料館」、伊賀七が設計した「五角堂」など、ゆかりの場所が残る。つくばエクスプレスマどりの駅や、高速道路では常磐自動車道谷田部ICに近く、交通アクセスが良い。



写真提供=つくば市

area

## たかみはら 高見原

JR牛久駅が最寄り  
自然が身近なまち

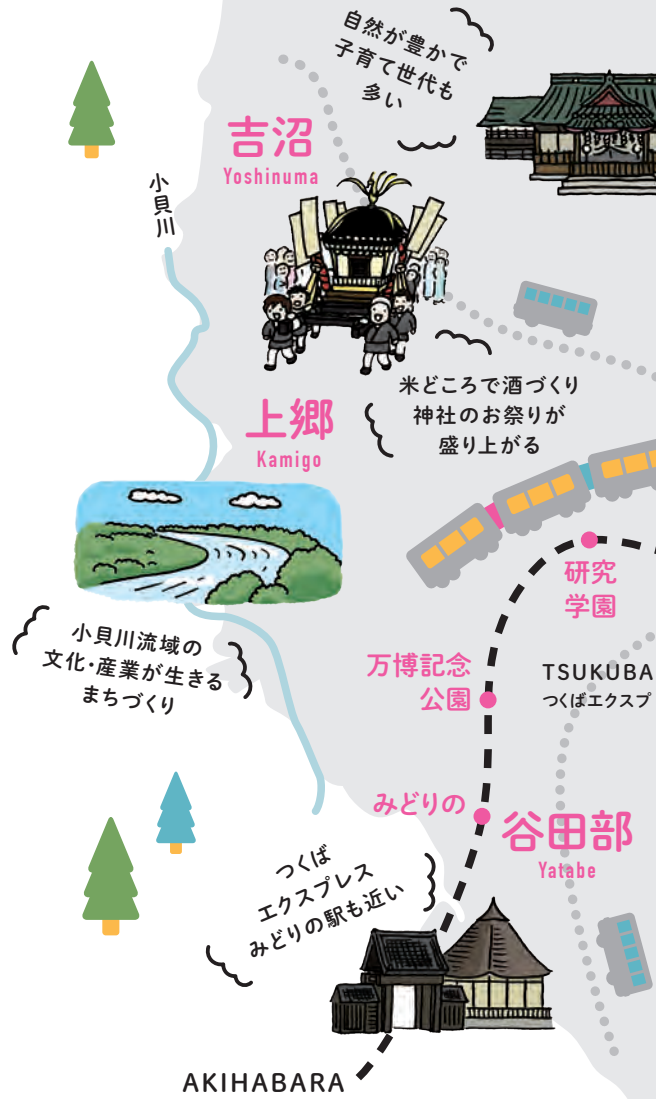
市の南東で牛久市に隣接し、JR常磐線牛久駅が最寄り駅。高度経済成長期からベッドタウンとして発展を続けている市街地。整然とした住宅地の中に田畑が点在しており、環境にも恵まれている。近隣には芝桜が名物の「高崎自然の森」、つくばの景観100にも「泊崎から見る牛久沼(つくば市最南端)」として選ばれた牛久沼など、足を延ばせば、自然資源も多い。



写真提供=つくば市

### 周辺市街地の 活性化

つくば市は周辺市街地の活性化に力を入れて取り組んでいる。各市街地でまちづくり勉強会を開催し、参加者を中心に「周辺市街地活性化協議会」を組織。また、市内外からアイデア、プランを募るコンペも開催している。



ヤルを秘めたエリアなのだ。本誌で紹介している方々のように、都市部からUターン、Iターンして独立・起業する際にも周辺市街地の魅力に惹かれ、拠点を構えるケースが増えている。近年は周辺市街地の住民が中心となり、「地域が主役になったまちづくり」も進み始めた。興味を持った地域のまちづくりに参加してみること、都市部では得られない新たな出会い、ビジネスのチャンスが得られるかもしれない。



# 地域が主役のまちづくり

## つくば市HP

つくば市HP「周辺市街地のまちづくり」では、つくば市の周辺市街地の取組に関する方向性や活動がまとめられており、左ページで紹介しているイラストマップもダウンロードができます。



大人も子どももみんなで創意を発揮し、多様な人たちが魅力を発揮するまちへ——つくば市の周辺市街地では、志あるメンバーが走り始めた。

つくばに生まれた人、移住してきた人が一体となって考えたアイデアが着々と実現している。

写真=野田真 文=佐々木正孝



## 1 廃校を活用した 新交流拠点の誕生!

### 小田小交流プラザ

つくば市北東部にある宝篋山(461m)の登山口があり、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のルート上にある「小田城跡歴史ひろば」がある小田地区。2020年9月、ハイカーやサイクリストが休憩でき、地域住民の交流場にもなる「小田小交流プラザ」がオープンした。ここは、2018年に廃校となった旧小田小を活用したコミュニティスペースだ。運営を担う小田地域まちづくり振興会の鈴木さんは「小田城址や宝篋山など、小田には地域資源がたくさん。地域コミュニティの新たな拠点として、まちへの来訪者をおもてなしできるように、ワクワクする企画を考えていきたいですね」と語る。



池の水を抜いてきれいに掃除。旧小田小の設備をフルに活用し、のびのび遊べる場所をみんなで作っていく

3



2



1



1)ムービーの撮影やお化け屋敷イベントなど、遊び心あふれる活動を企画する「小田っ子クラブ」。2)活動ごとにリーダーを決め、子どもが主体となって取り組む。3)自発的な学びの場ができた。卒業メンバーはサポート役として期待がかかる

#### Data

#### 小田小交流プラザ

つくば市小田3107(旧つくば市立小田小学校校舎内)  
☎029-811-6154  
営業/10:00~17:00 休み/月~木曜  
<https://www.odashou.com/>



小田地域まちづくり振興会  
会長  
鈴木真人さん





## イラストマップづくりで地域の歴史・文化などの魅力を発掘!

### 上郷なるほどマップ

小貝川沿いの自然、歴史と文化、商店街などが流麗なタッチでまとめられた「上郷なるほどマップ」。「このマップを手がける中、生まれ育った地域の魅力、素晴らしさをあらためて実感できました。防災と祭りをキーワードに活躍を続けていきます」と語る小久保さん。つくばで独立したグラフィックデザイナーの野中和宏さんがイラストを描き上げ、デザインも行った。洗練された仕上がりで、デザイン版「地産地消」の好事例となっている。



新型コロナで苦境の飲食店を応援するべく制作された「がんばる上郷かわら版」



地域資源と魅力を集約した地図は2020年3月に完成。上郷市街地活性化協議会が発案し、つくば市とつくば市在住のデザイナーとのコラボレーション

3



2



1



1) 上郷小学校で企画した「防災の集い」。2) 地域に伝わる民俗芸能「田倉三匹獅子」。3) 意欲的にイベントを企画し続ける上郷市街地活性化協議会

上郷市街地  
活性化協議会  
Facebook  
ページ



### 大曾根・花畑・筑穂 タウンMAP

田園や里山に恵まれた大曾根、隣接する新住宅地の花畑・筑穂地区を網羅。商業施設や信号のない交差点、防災時の連絡先までカバーした、これまでにない画期的なタウンマップだ。制作の中心となったのは川村宜央さん・葉月さん夫婦。2019年創業の『もっくん珈琲』には地域の様々なメンバーが集い、地域のグルメ、生活、歴史、文化などのローカル情報が集積する。地図づくりがまちづくりにつながっている。



地域を盛り上げるべく勉強会が開催された



2020年に2月に発行された「大曾根・花畑・筑穂タウンMAP」

Data

#### もっくん珈琲

つくば市大曾根3439-1  
☎029-811-6833  
営業 / 10:00 ~ 18:00 休み / 日曜  
<http://mokkuncafe.web.fc2.com/>



上郷市街地活性化協議会  
会長  
小久保 宏さん



大曾根・花畑・  
筑穂地域活性化協議会  
事務局  
川村 宜央さん



つくば

# R8

地域活性化プラン

COMPETITION  
2020

つくばをもっと楽しく、さらに心地よく

リージョンエイト

## 「R8」を元気にするアイデアたち

周辺市街地をさらに元気にする活性化プランが大集合。

つくばで、地域と提案者の「共創」がスタートした。

写真=野田真 文=佐々木正孝



### ● 「つくば R8 地域活性化プランコンペティション 2020」とは

つくば市合併前の旧町村時代に生活の拠点として発展してきた8つの地域（通称つくばR8／北条・小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部・高見原）を盛り上げる「地域活性化プラン」をつくば市内外から募集するコンペティション。2019年度から実施され、2020年度は「地域ぐるみ活動創生コース」、「稼げる地域づくり創生コース」の2コースで募集し、5プランを採択。採択プランは地域ぐるみで取り組みが進む。

### コロナ災禍克服熱狂

#### 「町民芝居と和提灯祭」

一手作り不滅の町おこしムーブメントー

- わわわやたべや町民会議

採択  
プラン /

2

### 市民劇団が魅せる、発明家の物語

2018年から活動する劇団「伊賀七座」は江戸時代の発明家・飯塚伊賀七をテーマにした演劇を展開。科学のまち・つくばの原点とも言える偉人を紹介してきた。第6回公演「生きろ伊賀七」は、谷田部で流行した熱病に立ち向かう伊賀七を描く（公演は新型コロナウイルスのため延期）。



「7人から始まった仲間も15名に増え、稽古にも熱が入ります。伊賀七が熱病に立ち向かう物語で地域を元気づけたいですね」（座長・北野茨さん）

### ふるさと菜園事業

ーつくばにあなたのふるさとをー

- 国際耕種株式会社

採択  
プラン /

3

### 地元の農家と一緒に家庭菜園教室

注目したのは、のどかな田園風景が広がる栄エリア。その資源を生かした家庭菜園教室プランだ。地元農家が協力し、近隣の新興住宅地に住む住民たちに野菜栽培の体験を提供する。農家との交流を通して「ふるさと」への思いを育ててもらうことがねらいだ。



土に触れながら野菜栽培の基本を学んでいく。つくばの農業、食を理解する格好の機会でもある

### 地域ぐるみ活動創生コース

#### Bond Job (ボンジョブ)

- 明治大学 木寺ゼミナール

採択  
プラン /

1

#### 体験とイベント、写真で地域を連携

仕事 (Job) を通じて絆 (Bond) を育むから Bond Job (ボンジョブ)。主体となるのは、明治大学政治経済学部の木寺ゼミナールの学生たちだ。プランは職場体験、マルシェ、フォトアートの三本が柱。商店、農家、製造業が豊富な上郷で、まずは小学生に職場体験を提供する。その体験を基に、子どもたちと職場体験先がマルシェで再び交流。それらのコミュニティ活動をフォトアート、PR動画として発信していく。



「政治と地域をイノベーションする！」を研究テーマに、様々なプロジェクトに挑戦している木寺ゼミ。Bond Jobの職場体験では上郷の地場産業と子どもたちをマッチングし、ワクワクする交流体験を創り出した



## 2019年度採択プランも成功!

2019年度の「つくばR8地域活性化プランコンペティション」では4プランが採択された。

採択  
プラン

### 1 わわわやたべや ～からくり伊賀七と進める市街地活性化運動～ わわわやたべや町民会議

住民主体の演劇で  
地域が一体になった

地域のヒーロー「からくり伊賀七」。江戸時代後期に谷田部で活躍した発明家を題材にした演劇、イベントによるまちづくり。演出・演者はすべて地域住民が担い、笑いあり、涙ありのドラマが観客を魅了した。



劇団「伊賀七座」は演劇やストーリーイベントを意欲的に企画する

採択  
プラン

### 2 小田山を芝桜で キレイに飾るうプロジェクト! 小田地域まちづくり振興会

地域のシンボルを  
芝桜でピンクに彩る

トレッキングが楽しめる宝篋山(別名小田山)は小田地区の観光資源。住民ら70名以上が参加し、耕作放棄地になっていた登山口に芝桜を植栽。目に美しく、イノシシの獣害や土砂崩れを防ぐ取り組みを行った。



登山口は鮮やかなピンクに彩られる。4～5月上旬が見頃だ

採択  
プラン

### 3 旅する大八車と小さなパレード studio weekend

昔懐かしい運搬具を  
カジュアルに再生!

運搬道具として活用された「大八車」に着目し、地域(北条・小田・谷田部)に現存する3台をリノベーション。移動式屋台としてイベントで活用するなど、新たなつながりを生むツールとして再生させた。



大八車に載せる家具を製作するワークショップに子どもたちが参加

採択  
プラン

### 4 R8ロゲイニング「魅力の発見と発信、 賑わいの創出、マップづくりとまち歩き」 筑波大学芸術系環境デザイン領域(藤田直子研究室)

地域の魅力を発見!  
現代版の「宝探し」

森などで目標物を探し集める遊び「ロゲイニング」。地図とタブレットを持ち、ランドマークを巡ってポイントを競うまち歩きイベントとして企画した。住民がまちの魅力を再発見できる格好の機会となっている。



2019年度は大曾根、上郷、吉沼地区で実施された

## 稼げる地域づくり創生コース

### 地域に開かれた ゴルフ場活用プロジェクト

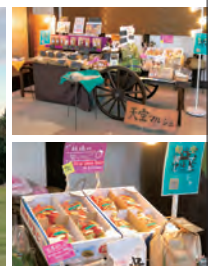
採択  
プラン!

1

#### ● 筑波国際カントリークラブ

#### ゴルフ場で散歩、クラブハウスでマルシェ

筑波山を一望する絶景のゴルフ場を地元住民に開放し、活用してもらうというプラン。旬の野菜や、つくばの特産品「福来みかん」のお菓子、つくば産米などの食材をそろえた「天空マルシェ」、広大なホールの芝生を散歩コースや遊び場として開放するイベント「天空の芝生で遊ぼう!」を開催し、つくばの食や農業、自然の魅力を発信。普段はあまり立ち入る機会のない芝生での遊びに、参加した子どもたちも大喜び。



マルシェでは、つくばR8コンペ2019採択プラン「大八車と小さなパレード」でリノベーションされた大八車を活用

### 古民家再生プログラム 「工芸×IoT」で 最先端の地域活性化

採択  
プラン!

2

#### ● iriai tempo (イリアイ テンポ)

#### 古民家をみんなのサードプレイスに

筑波山麓エリアの生産物が集まり、工芸文化が栄えた北条。まちづくりに携わってきた若きメンバーたちが、ITや建築、工芸などの専門性を生かし、ショップづくりを始動した。築100年以上の古民家「吉沢邸」をベースとして、セキュリティの確保やキャッシュレス決済の導入などIoTを積極的に活用するのが特徴だ。地域住民の交流拠点、サイクリストや観光客、学生が集うコミュニティスペースとして機能させていく。



「大工さんの力を借りつつ、自分たちでリノベーション。ネット環境も整備し、コワーキングスペースやワークショップの場としての活用も目指しています」と話す、筑波大学生の橋永貴郁さん(写真右)

# TSUKUBA DATA

( つくば市のデータ )

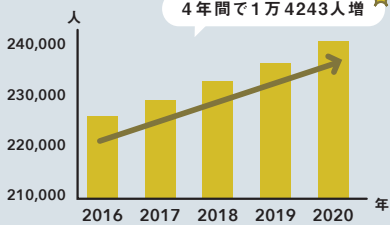
## 基本データ

総人口：245,958人(常住人口)

世帯数：110,735世帯

総面積：283.72km<sup>2</sup>

(2021年1月1日現在)



## アクセス

### ●つくばエクスプレス

秋葉原～つくば間

最速 **45** 分(快速)

### ●高速道路

常磐自動車道

「谷田部IC」50.7km / 39分

圏央道

「つくば中央IC」59.3km / 46分

(首都高速 箱崎JCTからの距離/所要時間)

## 外部評価

### ●住みよさランキング

関東 ..... **4** 位

全国総合評価 ..... **19** 位

(東洋経済新報社/「都市データバック2020年度版」)

### ●成長可能性都市ランキング(国内100都市中)

ポテンシャルランク ..... **3** 位

総合ランク ..... **6** 位

(野村総合研究所/「成長可能性都市ランキング」2017年)

## つくば市で創業を考えている方へのサポート

つくば市内へ移住し、起業を検討している方に向けて、  
つくば市では相談の受付や助成金などの各種サポートを行っています。

※支援制度の内容は変更する場合があります。申込条件等の詳細は、つくば市のホームページや市の相談窓口に最新情報を必ず確認。

### つくば市わくわく茨城生活実現事業 移住支援金

#### ● 交付金額

世帯で移住した場合…100万円 ※2人以上

単身で移住した場合…60万円

移住支援金の対象となるケースについては、つくば市のホームページ、相談窓口を確認を。

つくば市HP

わくわく移住支援金

検索

### 既存商店街等 空き店舗活用補助金

#### ● 店舗賃借料(家賃補助)：上限月5万円

(賃借料の2分の1、営業開始から1年分)

#### ● 店舗改装等補助：上限150万円

(事業開始のために必要な  
空き店舗の改装費用の2分の1)

空き店舗は、対象となる地区や都市計画の用途地域が定められており、詳細はつくば市のホームページ・相談窓口を確認を。

つくば市HP

空き店舗活用補助金

検索

### つくば市の 創業支援関連情報

つくば市は創業支援にも積極的。  
補助金・融資制度、つくば創業支援ネットワーク、各機関における相談窓口など手厚いサポートが受けられる。

つくば市HP

創業支援

検索

お問い合わせ

### つくば市広報戦略課(移住定住相談窓口)

つくば市では、移住に関する情報提供や各種相談に応じています。

電話：029-883-1111(代表)



DATA

### つくば市役所HP

暮らしの情報やビジネス情報、  
観光・イベント情報などを発信



### つくばファンクラブ

つくばの魅力やイベント等の情報を  
写真・動画で紹介



facebook

instagram

### TSUKUBA LIFE

つくば市に移住してきた方、暮らししてきた方たちを  
紹介する Youtube チャンネル

